

境界侵入検知システム (PIDS)



CPNI 承認済み

網の裏当てが溶接された高さ3メートルの柵 (溶接された網の裏当て付き、蛇腹形鉄条網あり/なし)

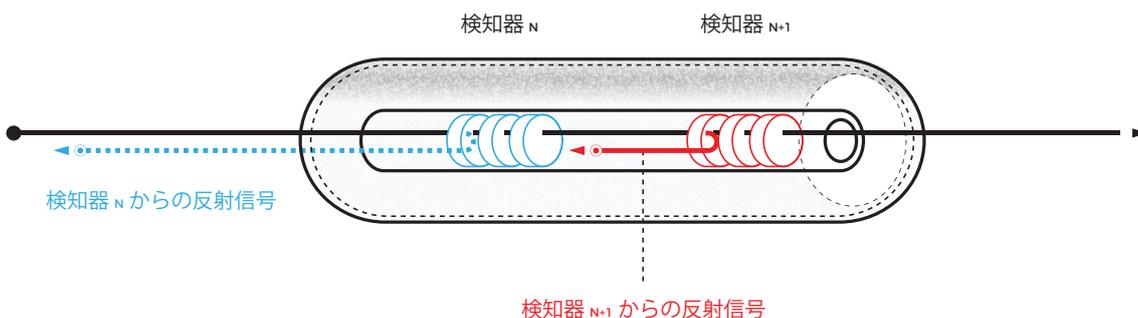
フェンスマウント PIDS

ST Engineering (シンガポール) 社製の周辺侵入検知システム (PIDS) は、フェンスセキュリティのために開発されたソリューションであり、実際の環境で低い誤警報率を維持しながら、高精度で信頼性の高い検出を実現します。

動作原理

これらの非常に高感度のファイバ検知器は、さまざまな場合において低い誤警報率を維持しながら、周辺のフェンスに対するわずかな外乱をも検知することができます。これらの検知器は、通常の条件下でそれぞれが特定のパターンを反射しシステムに戻すというユニークな特性を持っています。どのような種類の侵入でも必ず定常状態に影響を及ぼし、バックエンド機器に反射されるパターンに変化を及ぼすので、これによって侵入警報が発せられます。

個別のファイバ検知器



動作原理



侵入者は、フェンスを切断または登ることによって境界を突破しようとします。フェンスパネルが乱されると、警報がオペレーションセンターに送信されます。



境界で最も近くに戦略的に設置された CCTV が自動的に作動し、ピンポイントの精度で侵入を検証します。



セキュリティ対応チームは直ちに活動化され、正確な侵入場所に派遣されます。



侵入者は、何らかのダメージが与えられる前に逮捕されます。プロセス全体が指令本部によって監視されています。

性能仕様

検出確率	> 95%
検出精度	±5 m
検出分解能	20 m
誤報率(平均)	実際の環境では 1 キロメートルあたり 1 日あたり 3 以下
撃退力	不正な細工を検出し、切断に影響されません。ケーブルは複数の切断を受けてもそれに耐えて動作を維持することができます

技術仕様

技術	個別ファイバーセンサを埋め込んだ光ファイバーケーブル
消費電力	各検知機: 45 W (4 チャンネル、8 チャンネル、16 チャンネル) 各信号処理機 460 W 屋外で電力は必要ありません
環境スペック	耐紫外線防護カバー付きセンサケーブル 耐紫外線ケーブルタイ 検知機および信号処理機は、空調された部屋で動作します
製品寿命	10 年 包括的な保証プログラムと延長オプションが利用可能
統合	新規/既存の ISMS & CCTV ネットワークと統合

ST Engineering Electronics Ltd.

www.stengg.com

AGILFence@stengg.com

© 2020 ST Engineering Electronics Ltd. All rights reserved.

DOP 0720

